資料2コメント

会議名：1=原案審査（Ⅰ） 2=規格検討会 3=原案審査（Ⅱ） 4=三者委員会

規格検討会　三者委員

対象規格	JIS M 8717 鉄鉱石－密度試験方法

ｺﾒﾝﾄﾀｲﾌﾟ：ge = 一般的 te =技術的 ed = 編集上

処置案・審議結果：原案のまま 修正採用 採用

No	委員		箇条 細分箇条 (e.g. 3.1)	細別・表・図 (e.g. a), 表1)	ｺﾒﾝﾄ ﾀｲﾌﾟ	コメント提出		担当主査調整案		審議結果・審議内容 ・修正内容 他
	社名	氏名				内 容	修 正 案	処置案	回答・理由説明 他	
4001	神鋼	錦織	4.2		te	乾燥後の冷却はデシケータ内で行うべきでは。	“～乾燥し，冷却後，デシケータに保管する。” →“～乾燥した後，デシケータ中で常温まで放冷し，保管する。”	採用	M3分科会委員にも確認して、採用。	承認
4002	東理大	田中	6.2.2	b)	ed	句点を挿入	による)。 → による。)。	採用		承認
4003	東理大	田中	6.2.3 6.3.4		te	「長時間が経過」:“長時間”は曖昧ではありませんか？		原案のまま（現状を解説に記載）	吸湿による質量変化の挙動は鉄鉱石の種類や保管状況により異なるため、一律に基準となる時間を決めるのは困難です。実務上は、過去の知見等に基づいて、再乾燥の要否を判断しています。規定文は「原案のまま」として、「解説」に上記の現状と課題を記載します。	承認
4004	東理大	田中	附属書A	図A.1	ge	$\bar{x}$ 記号“ ¯ ”の説明は要らない？		採用	xバーの記号説明を追記します。この附属書は、他の物理試験規格でも共通で用いられているため、今後の展開も考慮して、x1～x4の記号説明も、“測定密度”→“測定値”に変更します。（JSA殿にも相談） x1, x2, x3, x4：4個の測定試料から得られた測定値 xバー：測定値の算術平均	承認
4005	東理大	尾島	附属書A	図A.1	te	注記のメディアンの説明文が不正確	“メディアンは，x1，x2，x3，x4の中央の二つの平均をいう。”	採用		修正案通り

資料3コメント

会議名：1=原案審査（Ⅰ） 2=規格検討会 3=原案審査（Ⅱ） 4=三者委員会

規格検討　三者委員

対象規格	JIS M 8229 鉄鉱石－鉛定量方法－鉄抽出分離原子吸光分析法

コメントタイプ：ge = 一般的 te =技術的 ed = 編集上

処置案・審議結果：原案のまま 修正採用 採用

No	委員		箇条 細分箇条 (e.g. 3.1)	細別・表・図 (e.g. a), 表1)	コメントタイプ	コメント提出		担当主査調整案		審議結果・審議内容・修正内容 他
	社名	氏名				内 容	修 正 案	処置案	回答・理由説明 他	
4001	東理大	田中	5		te	「9.1 試料の分解」に整合させる？ （例えば、右欄のように修正）	試料を分解し，・・・加熱し， → 試料を塩酸及びふっ化水素酸で加熱して分解し，	採用		承認
4002	東理大	田中	5		te	鉄の酸化数は要りませんか？		採用	“鉄（Ⅲ）”とします。	承認
4003	東理大	田中	5		ed	読点を挿入	融解し塩酸に → 融解し，塩酸に	採用		承認
4004	東理大	田中	7		ed	箇条の題名の順序に細分箇条を並べ替える。 または題名を修正する。		採用	7.1 原子吸光装置 7.2 白金るつぼ 7.3 樹脂製ビーカー	承認
4005	東理大	田中	9.1	c)	ed	読点を挿入	ろ過しビーカーの → ろ過し，ビーカーの	採用		承認
4006	東理大	田中	9.1	c)	ed	読点を削除？	残さを，ポリスマンを → 残さをポリスマンを	採用		承認
4007	鉄連		9.4	b)	te	9.3 c)で得た溶液を，表1に従って分取して50 mLの全量フラスコに移し入れ，水で標線までうすめる。この溶液を表1に従ってビーカー（250 mL）に移し入れ，	9.3 c)で得た溶液を，50 mLの全量フラスコに水を用いて移し入れ，水で標線までうすめる。この溶液を表1に従ってビーカー（250 mL）に分取して，	採用	50 mL定容とする前に分取する記載となっているため，修正します。	承認
4008	東理大	田中	11	b)	ed	「操作を・・・操作する。」 箇条10に合わせ、字句を修正	併行して操作する。 → 併行して行う。	採用		承認
4009	東理大	田中	12	b) 式	te	係数値はよいですか？	1.077 2 → 1.077 3？	採用	原子量表（2025） Pb：207.04 O：15.9994 (PbO/Pb)=1.07728	承認
4010	東理大	田中	附属書JB	10, 11 d)欄	ed	“で”を挿入	加えない調製 → 加えないで調製	採用		承認

資料4コメント

会議名：1=原案審査（Ⅰ） 2=規格検討会 3=原案審査（Ⅱ） 4=三者委員会

規格検討　三者委員

対象規格	JIS M 8218-1 鉄鉱石－銅定量方法－第1部：2,2'-ビキノリン吸光光度法

コメントタイプ：ge = 一般的 te =技術的 ed = 編集上

処置案・審議結果：原案のまま 修正採用 採用

No	委員		箇条 細分箇条 (e.g. 3.1)	細別・表・図 (e.g. a), 表1)	コメントタイプ	コメント提出		担当主査調整案		審議結果・審議内容・修正内容 他
	社名	氏名				内 容	修 正 案	処置案	回答・理由説明 他	
4001	東理大	田中	5		te	銅の酸化数(2か所)は要りませんか？		採用	“銅(Ⅱ)をL(＋)-アスコルビン酸で還元し，N,N-ジメチルホルムアミドの存在下で銅(Ⅰ)と2,2'-ビキノリンとの赤紫色の錯体を生成させる。”とします。	承認
4002	東理大	田中	6.11		ed	他規格の表記に合わせ、“この溶液は，”を挿入する？	使用の都度，調製する。 → この溶液は，使用の都度，調製する。	採用		承認

資料5コメント

会議名：1=原案審査（Ⅰ） 2=規格検討会 3=原案審査（Ⅱ） 4=三者委員会

規格検討　三者委員

対象規格	JIS M 8218-2 鉄鉱石－銅定量方法－第2部：原子吸光分析法

コメントタイプ：ge = 一般的 te =技術的 ed = 編集上

処置案・審議結果：原案のまま 修正採用 採用

No	委員		箇条 細分箇条 (e.g. 3.1)	細別・表・図 (e.g. a), 表1)	コメントタイプ	コメント提出		担当主査調整案		審議結果・審議内容・修正内容 他
	社名	氏名				内 容	修 正 案	処置案	回答・理由説明 他	
4001	東理大	田中	5		te	鉄の酸化数は要りませんか？		採用	“鉄（Ⅲ）”とします。	承認
4002	東理大	田中	7		ed	箇条の題名の順序に細分箇条を並べ替える。 または題名を修正する。		採用	7.1 原子吸光装置 7.2 マッフル炉 7.3 白金るつぼ 7.4 樹脂製ビーカー	承認
4003	東理大	田中	7.4	警告	ed	“箇条”は不要では？	**箇条10.**（安全） . → **10.**（安全）	採用		承認
4004	東理大	田中	8	表2	ed	他規格の表記に合わせ、“試料の”を挿入	はかりとり量 → 試料のはかりとり量	採用	“試料はかりとり量”とします。	“試料のはかりとり量”とする。
4005	東理大	田中	9.2	b) 4)	te	“るつぼに移して”を挿入？	ろ紙とともに乾燥 → ろ紙とともにるつぼに移して乾燥	採用		承認
4006	東理大	田中	11	a) 2)	ed	“銅”を挿入	**表5**の定量範囲ごとに → **表5**の銅定量範囲ごとに	採用		承認

資料6コメント

会議名：1=原案審査（Ⅰ） 2=規格検討会 3=原案審査（Ⅱ） 4=三者委員会

規格検討会

三者委員会

対象規格	JIS M 8227-1 鉄鉱石－すず定量方法－第1部：よう化物抽出分離フェニルフルオロン吸光光度法

ｺﾒﾝﾄﾀｲﾌﾟ：ge = 一般的 te =技術的 ed = 編集上

処置案・審議結果：原案のまま 修正採用 採用

No	委員		箇条 細分箇条 (e.g. 3.1)	細別・表・図 (e.g. a), 表1)	ｺﾒﾝﾄ ﾀｲﾌﾟ	コメント提出		担当主査調整案		審議結果・審議内容 ・修正内容 他
	社名	氏名				内 容	修 正 案	処置案	回答・理由説明 他	
4001	東理大	田中	全体 (4か所)		ge	「よう化すず」：すずの酸化数はあった方がよいのでは？		採用	“よう化すず（Ⅱ）”とします。	他規格で「よう化すず」に価数を記載している例がないことから、価数は記載しないこととした。
4002	東理大	田中	11	d)	ed	「操作を・・・操作する。」 箇条10に合わせ、文章を修正	併行して操作する。 → 併行して行う。	採用		採用

資料7コメント

会議名:1=原案審査(Ⅰ) 2=規格検討会 3=原案審査(Ⅱ) 4=三者委員会

規格検討会

三者委員会

対象規格	JIS M 8227-2 鉄鉱石ーすず定量方法ー第2部:よう化物抽出分離原子吸光分析法

コメントタイプ:ge = 一般的 te =技術的 ed = 編集上

処置案・審議結果:原案のまま 修正採用 採用

No	委員		箇条 細分箇条 (e.g. 3.1)	細別・表・図 (e.g. a), 表1)	コメントタイプ	コメント提出		担当主査調整案		審議結果・審議内容 ・修正内容 他
	社名	氏名				内 容	修 正 案	処置案	回答・理由説明 他	
4001	東理大	田中	全体 (4か所)		ge	「よう化すず」:すずの酸化数はあった方がよいのでは?		採用	“よう化すず(Ⅱ)”とします。	他規格で「よう化すず」に価数を記載している例がないことから、価数は記載しないこととした。
4002	東理大	田中	5		ed	6.11に合わせて、“-”を挿入?	TOPOという。)4-メチル → TOPOという。)-4-メチル	採用		承認
4003	東理大	田中	7		ed	箇条の題名の順序に細分箇条を並べ替える。 または題名を修正する。		採用	7.1 原子吸光装置 7.2 マッフル炉 7.3 白金るつぼ	承認
4004	東理大	田中	7.3	警告	ed	“箇条”は不要では?	**箇条10.**(安全) . → **10.**(安全)	採用		承認
4005	東理大	田中	11	b)	ed	「操作を・・・操作する。」 箇条10に合わせ、文章を修正	併行して操作する。 → 併行して行う。	採用		承認
4006	東理大	田中	附属書JB	10 11d)欄	ed	“を”を挿入	酸化鉄(Ⅲ)加えて → 酸化鉄(Ⅲ)を加えて	採用		承認

資料8コメント

会議名：1=原案審査（Ⅰ） 2=規格検討会 3=原案審査（Ⅱ） 4=三者委員会

規格検討　三者委員会

対象規格	JIS M 8218 鉄鉱石－銅定量方法

コメントタイプ：ge = 一般的 te =技術的 ed = 編集上

処置案・審議結果：原案のまま 修正採用 採用

No	委員		箇条 細分箇条 (e.g. 3.1)	細別・表・図 (e.g. a), 表1)	コメントタイプ	コメント提出		担当主査調整案		審議結果・審議内容 ・修正内容 他
	社名	氏名				内 容	修 正 案	処置案	回答・理由説明 他	
4001						コメントなし				

資料9コメント

会議名:1=原案審査(Ⅰ) 2=規格検討会 3=原案審査(Ⅱ) 4=三者委員会

規格検討　三者委員会

対象規格	JIS M 8227 鉄鉱石－すず定量方法

コメントタイプ:ge = 一般的 te =技術的 ed = 編集上

処置案・審議結果:原案のまま 修正採用 採用

No	委員		箇条 細分箇条 (e.g. 3.1)	細別・表・図 (e.g. a), 表1)	コメントタイプ	コメント提出		担当主査調整案		審議結果・審議内容 ・修正内容 他
	社名	氏名				内 容	修 正 案	処置案	回答・理由説明 他	
4001						コメントなし				